



分科会

資料

《鳳来峡IC》

三遠南信自動車道の整備状況について

《浜松いなさJCT》

平成26年10月27日

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所

1. 三遠南信自動車道の概要
2. 三遠南信自動車道の整備状況
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果

1. 三遠南信自動車道の概要

《三遠南信自動車道とは》

三遠南信自動車道(一般国道474号)は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路であり、中央道、新東名と連絡し、**地域間の連携強化、奥三河、遠州、南信州地域の秩序ある開発、発展に大きく寄与する重要な路線。**

■三遠南信自動車道 進捗状況

飯喬道路

- ・工事・用地買収推進中
(飯田東IC～龍江IC 平成29年度開通予定)

青崩峠道路

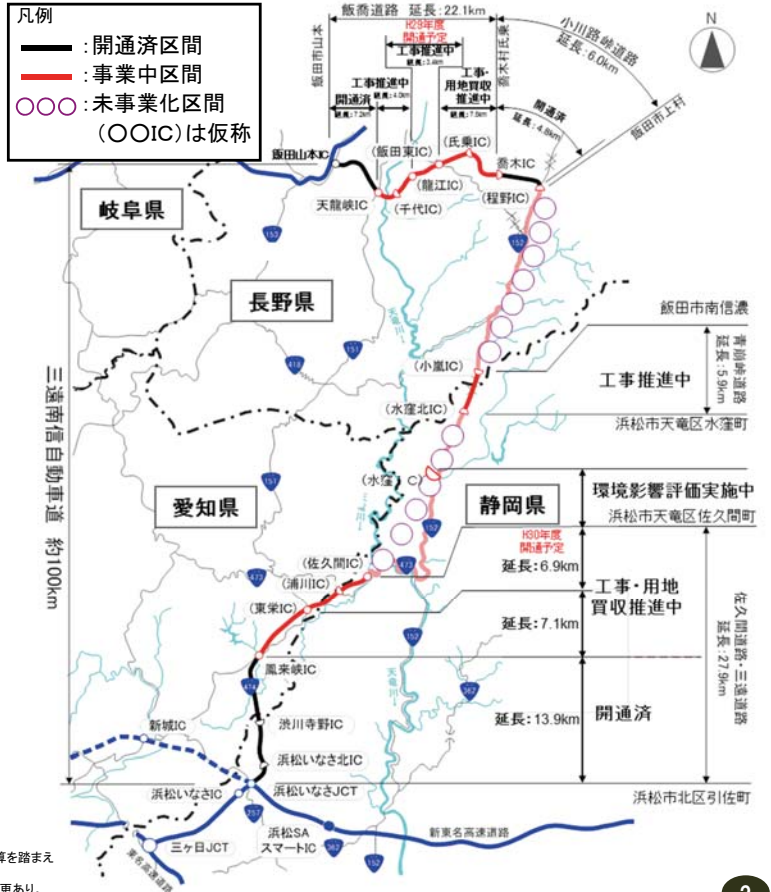
- ・工事推進中

水窪～佐久間

- ・環境影響評価実施中

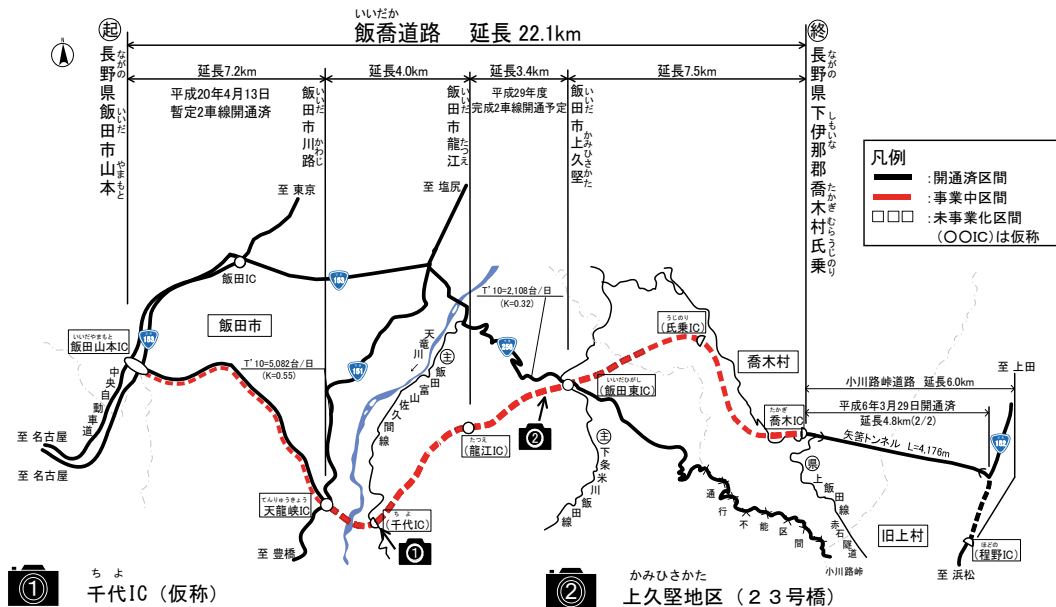
佐久間道路・三遠道路

- ・工事・用地買収推進中
(佐久間IC～東栄IC 平成30年度開通予定)

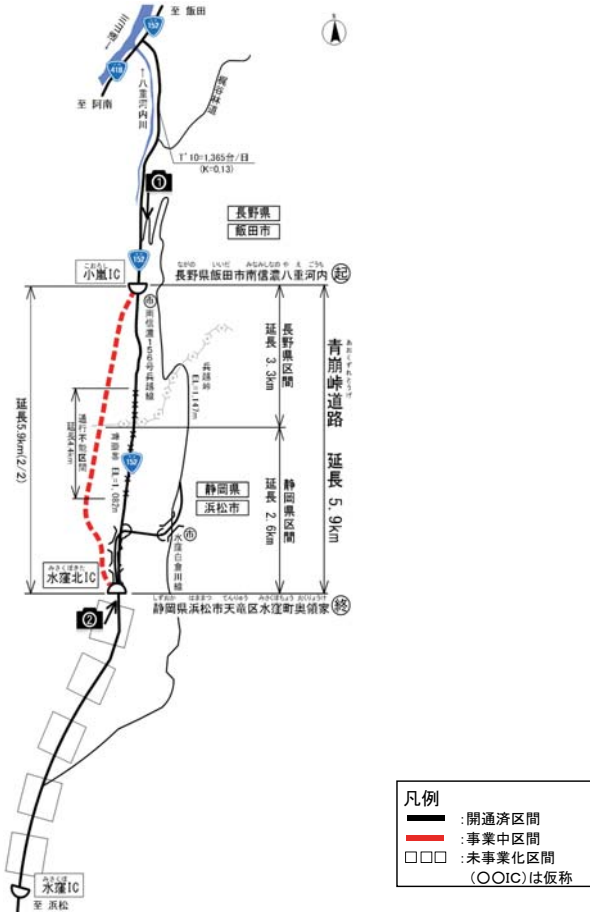


<開通の見通し>
 ・用地取得に一定の進捗が見られるなど、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った事業について、平成26年度予算を踏まえた開通の見通しを公表。
 ・本開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変更等により、変更あり。

2. 三遠南信自動車道の整備状況 (飯喬道路)



2. 三遠南信自動車道の整備状況（青崩峠道路）



① 工事用道路



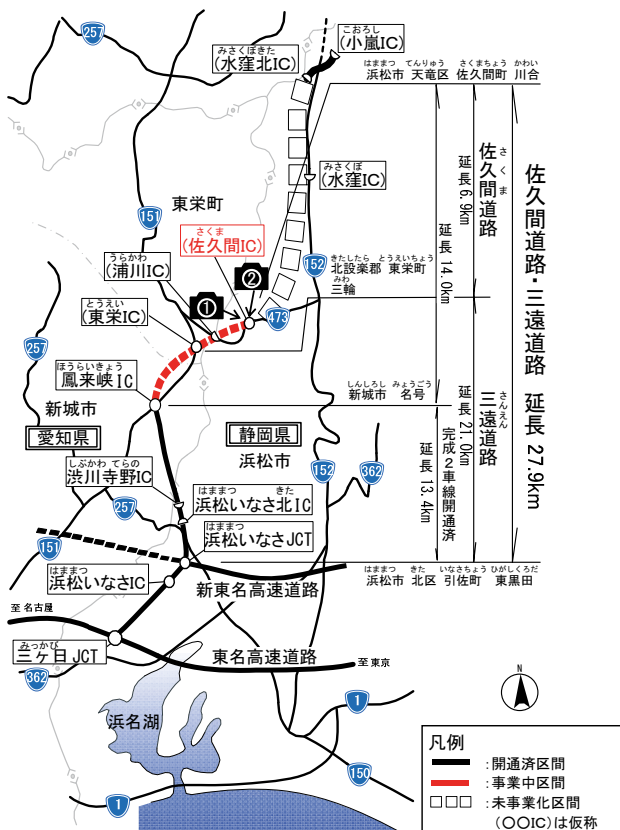
② 調査坑（静岡県側）



H26.9月撮影

4

2. 三遠南信自動車道の整備状況（佐久間IC周辺）



① 佐久間IC（仮称）付近



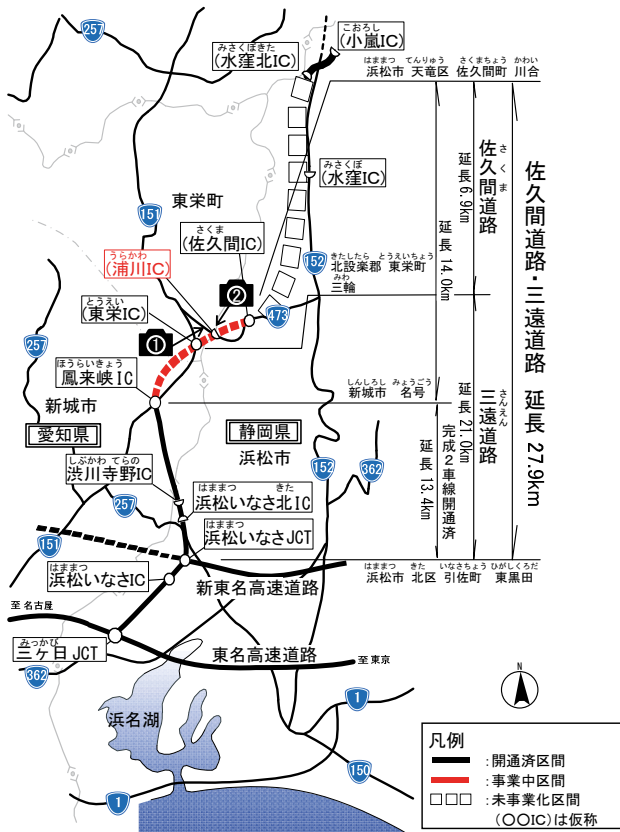
② 佐久間IC（仮称）付近



H26.9月撮影

5

2. 三遠南信自動車道の整備状況（浦川IC周辺）



①

浦川IC（仮称）付近



②

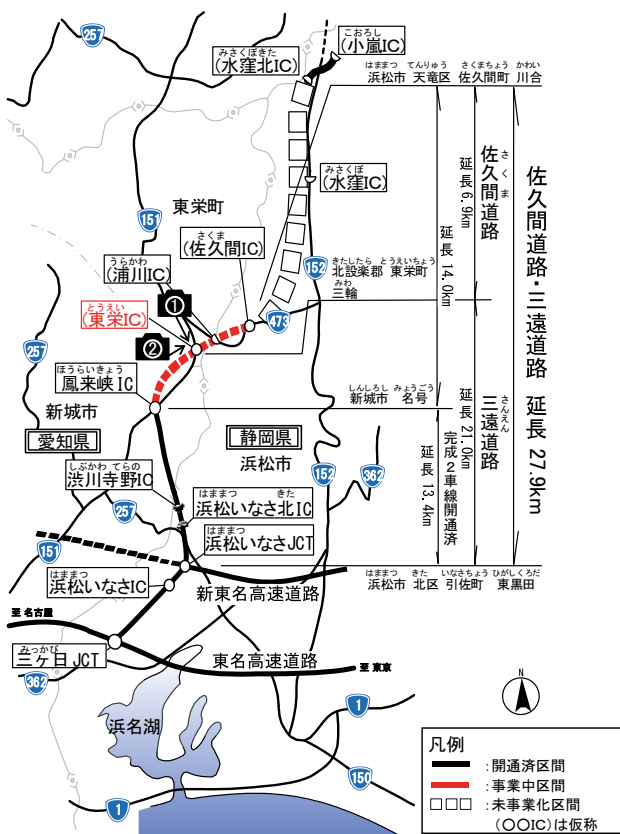
浦川IC（仮称）付近



H26.9月撮影

6

2. 三遠南信自動車道の整備状況（東栄IC周辺）



①

東栄IC（仮称）付近



②

東栄IC（仮称）付近



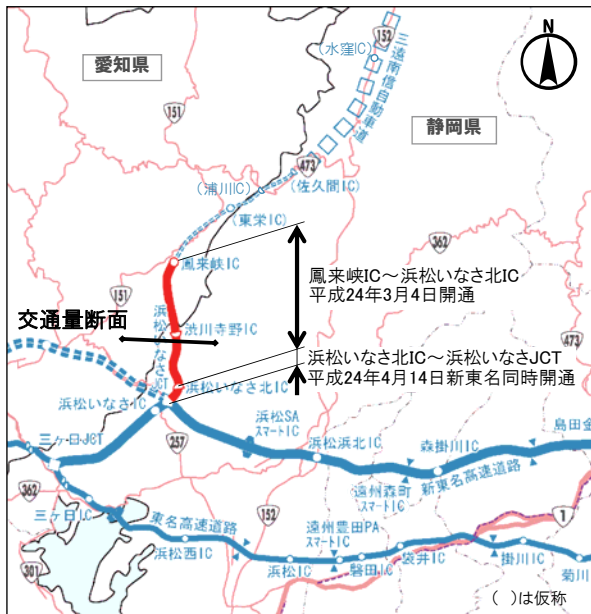
H26.9月撮影

7

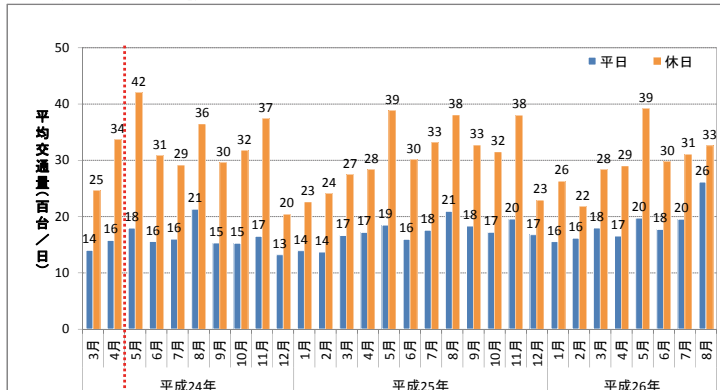
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(交通量)

- 三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)交通量は、**平日約17百台/日、休日約31百台/日**で推移。
- 特に、5月(GW)、8月(お盆)、11月(紅葉シーズン)の**休日の交通量が多く、沿線地域の観光振興に寄与している**と考えられる。

■位置図



■交通量の推移



平成24年4月14日
新東名開通

新東名開通後
平均交通量
平日:約17百台/日
休日:約31百台/日

出典:国土交通省データ
平成24年3月4日(日)
～平成26年8月31日(日)

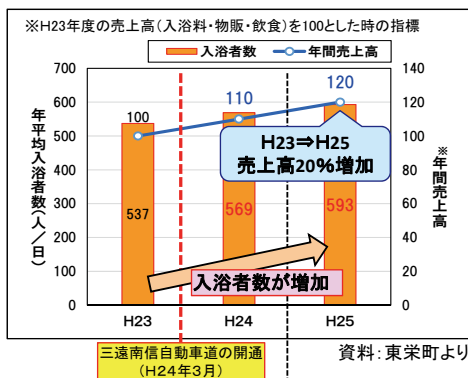
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(観光・交流)

- 三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさJCT)の開通後、愛知県東栄町の「とうえい温泉」の**入浴者数が増加**。
- 「とうえい温泉」では、開通に伴う入浴者数の増加を契機に、**温浴施設のリニューアルを実施**。入浴者数は更に増加し、**相乗効果による地域活性化が促進**。

■来場者で賑わうとうえい温泉の様子



■とうえい温泉入浴者数及び売上高の推移

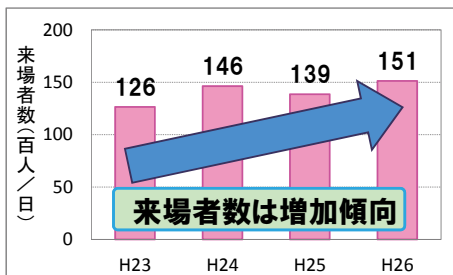


- 平成25年4月20日
リニューアルオープン
【改修内容】
- 休憩棟増築(休憩室2室増設、カラオケルーム2室設置等)
 - 野天風呂改修(源泉掛け流し風呂・寝湯を設置)

3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(観光・交流)

○愛知県北設楽郡豊根村の茶臼山高原で開催される「芝桜まつり」は、**例年多くの来場者で賑わっており、三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさJCT)の開通後、来場者数は増加傾向。**

■芝桜まつりの来場者数 (H23～H26)



データ: 施設管理者提供データ
※まつり開催期間中の休日平均(雨天を除く)



茶臼山高原 芝桜まつり会場 (愛知県北設楽郡豊根村)



3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(医療・福祉)

○愛知県北設楽郡東栄町では、地域の病院では対応できない患者を都市部(浜松・豊橋等)の大病院に搬送。
○三遠南信自動車道を利用することで、**所要時間が約10分短縮されるとともに、走行性の向上により、搬送患者の負担軽減に繋がっている。**

■救急搬送ルートの変化



【開通前】	
東栄病院	国道151号 → 豊川市民病院 (約57分)
	→ 豊橋市民病院 (約62分)
	→ 豊橋ハートセンター (約68分)
国道151号、257号 → 浜松医大病院 (約70分)	
【開通後】	
東栄病院	三遠南信 → 東名 → 豊川市民病院 (約48分) 9分短縮
	→ 豊橋市民病院 (約55分) 7分短縮
	→ 豊橋ハートセンター (約61分) 7分短縮
	三遠南信 → 東名 → 浜松西IC → 浜松医大病院 (約53分) 17分短縮

※()内の所要時間はヒアリング結果より実績値。但し、豊橋ハートセンターまでは、豊橋市民病院までの実績値をベースに民間プローブデータより算出。浜松医大病院は民間プローブデータから算出。

新城市消防本部の声

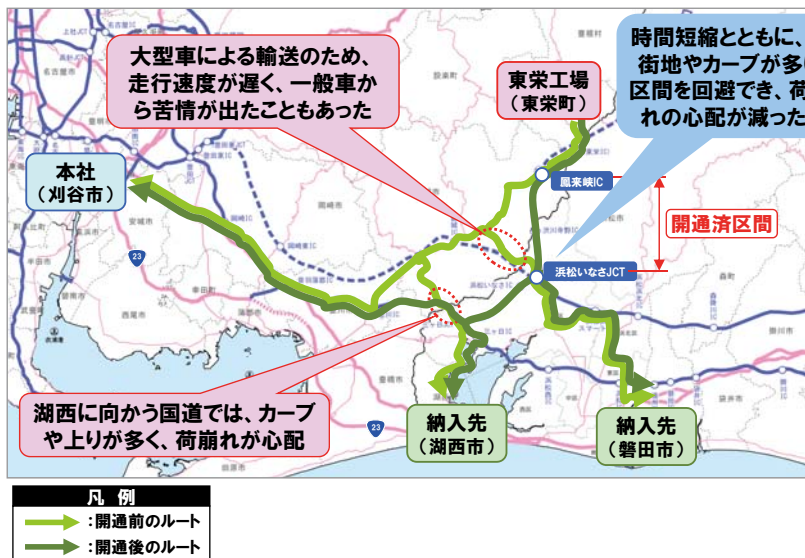
開通以降、東栄病院から豊川市民病院や豊橋市民病院への搬送では、状況に応じて三遠南信・新東名を利用しています。
開通前に比べて**所要時間が約10分短縮したとともに、走行性が向上し患者さんや運転手の運転時の負担軽減にも繋がっています。**



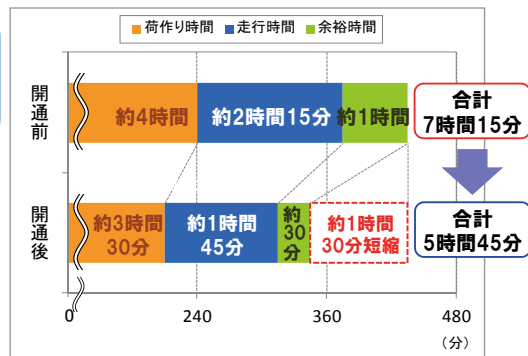
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(産業)

- 愛知県北設楽郡東栄町にある企業では、湖西市や磐田市等、太平洋岸の企業と取引を行っているが、**所要時間や走行性に課題**を抱えていました。
- 三遠南信自動車道の開通後、走行時間の短縮のみならず、**荷崩れの心配が減ること**で梱包にかかる時間も削減でき、輸送の大幅な効率化に貢献しています。

■東栄町からの輸送経路の課題と開通効果



■湖西方面への輸送時間 (11トン車での輸送時)



A社(東栄工場)工場長の声

輸送時間が読めることから、**余裕時間を半減**でき、荷崩れの心配が減ったことで**梱包にかかる時間が削減**されるなど、**輸送の大幅な効率化**が実現しました。

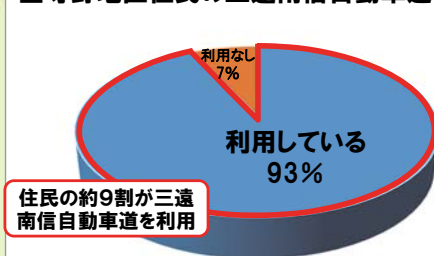
出典: 企業ヒアリングより

3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(生活)

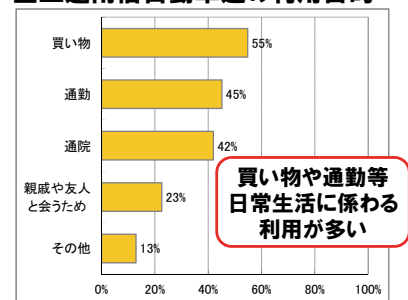
- 浜松市北区渋川の寺野地区では、三遠南信自動車道開通後、**住民の約9割が三遠南信自動車道**を利用しており、**買い物や通勤等日常生活を支える道路**となっています。
- また、日常生活だけでなく**緊急時の安心感が向上**するなど、沿線住民の安心で快適な生活環境づくりに貢献しています。



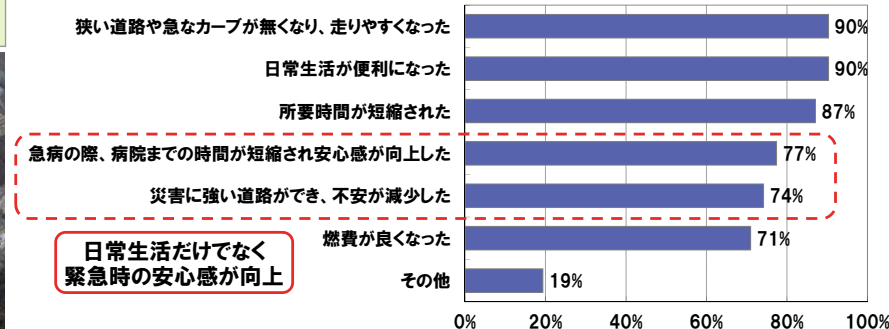
■寺野地区住民の三遠南信自動車道利用率



■三遠南信自動車道の利用目的



■開通後に感じた効果(複数回答可)



寺野地区住民アンケート(H25.1 国土交通省実施)結果

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト



(平成20年3月策定)

政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道23号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道150号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの利用を図ります。

【推進主体とその活動】

- 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	1				
区分	道				
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成				
項目	1-①				
推進方針	三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現 ※平成20年3月策定三遠南信地域連携ビジョンより				
主要施策	三遠南信250万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現に向けた取り組みを推進します。 ※平成20年3月策定三遠南信地域連携ビジョンより				
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153	
工程表	期成同盟会等を通じた国等への働きかけ 三遠南信自動車道：鳳来IC 一引佐JCT間H24.3.4開通 三遠南信自動車道 現道区間：国道152号 向井万場 拡幅（豆嵐橋、豆嵐トンネル）H23.7.3開通	三遠南信自動車道の早期全線開通を目指し働きかけ			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動（中部地整H23.12.13、H24.7.17、H25.7.11、H26.8.11）（本省H20.7.28、H25.7.31、H25.11.14、H26.7.7） ○三遠南信道路建設促進期成同盟会（3県・市町村）による国土交通省等への要望活動（H21.6.15、H21.12.1、H22.6.4、H22.12.14、H22.12.17、H23.6.14、H23.6.22、H23.12.12・15、H24.7.18、H24.12.19、H25.6.12、H25.12.12、H26.6.16、H26.6.27） ○三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動（H21.6.23、H22.11.16、H23.6.28、H24.8.31、H25.8.21） ○三遠南信道路建設促進遠州地域期成同盟会による要望活動（H21.6.23、H22.6.4、H23.7.7、H24.7.27、H25.7.19、H25.7.22、H26.7.7、H26.7.29） ○三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会による国土交通省等への要望活動（H21.6.25、H22.6.24、H23.6.28・29、H24.6.28・29、H25.6.26・27、H26.7.2・3） ○三遠南信地域経済開発協議会の三遠南信自動車道早期開通キャンペーン（H21.9.9） ○3市（浜松・豊橋・飯田）による国土交通省への要望活動（H21.10.27、H22.12.3） ○三遠南信自動車道早期開通期成同盟会による要望活動（H21.12.2、H21.12.3、H22.12.16、H23.11.17、H25.1.17、H25.12.19） ○飯島道路3工区建設促進期成同盟会の設立（H23.6.2） ○浜松市による国への国債借入れによる早期事業化の要望活動（H23.7.7、H24.3.29、H24.8.10、H25.2.14、H25.4.12、H25.8.5、H25.11.12、H26.6.27） ○飯田商工会議所による国土交通省への要望活動（H23.8.25、H24.10.12、H25.2.12、H25.5.9、H25.11.8、H26.6.10） 				
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> < 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会 > < 商工会議所・商工会、自団体 > 				

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	2		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-②		
推進方針	三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実		
主要施策	国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した（シームレス）ネットワークを形成します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 協議会等を通じた国への働きかけ	● 協議会等を通じた国等への働きかけ 地域の回遊性などを高め、受け入れ態勢の整備	● 協議会等を通じた国等への働きかけ
実施内容	<p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 (H21.6.23) (H22.11.16) (H23.6.28) (H24.8.31) (H25.8.21)</p> <p>○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25) (H23.10.28) (H24.7.31)</p> <p>○国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.1, H22.7.6, H23.8.18, H24.7.25, H25.8.7, H26.7.17)</p> <p>○名豊道路建設推進協議会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25, H23.8.17, H23.10.28, H24.7.31, H25.7.11, H26.7.24, H26.8.6, H26.8.11)</p> <p>○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25, H23.8.17, H24.7.17・31, H25.7.11, H25.7.31, H26.7.24, H26.8.6, H26.8.11)</p> <p>○三河港振興会による整備促進等の要望活動 (H21.6.30, H21.7.8, H21.10.5, H22.2.2, H22.4.19, H22.7.26, H23.5.11, H23.7.7, H24.5.15・16, H24.7.11, H24.10.5, H25.1.21, H25.2.15, H25.5.31, H25.6.4, H25.7.31, H25.10.7, H25.11.14, H25.11.14, H26.2.7, H26.5.27, H26.7.2, H26.8.6)</p> <p>○静岡県西部8市長による静岡県への要望活動 (H22.1.4)</p> <p>○遠州地域御前崎港利活用促進協議会による国土交通省への要望活動 (H22.4.28)</p> <p>○御前崎港整備促進期成同盟会、御前崎振興会による国土交通省への要望活動 (H23.2.7, H24.2.15, H25.2.6, H26.2.6)</p>		
推進主体	<p>< 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会 ></p> <p>< 商工会議所・商工会、自治体 ></p>		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	3		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-③		
推進方針	リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置		
主要施策	リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	●		平成26年度 20144~20153
実施内容	事業促進に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ (関係機関との連携)	早期開業に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ (関係機関との連携)	
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第17回三遠南信サミット2009 in 東三河のサミット宣言において「新たな東西軸を形成するリニア中央新幹線飯田駅の設置に向けて、SENAを中心に、地域一丸となって提案活動を進める。」と宣言 (H20~) ○ 飯田市によるリニア中央新幹線飯田駅整備推進基金設置 (H22.4~) ○ リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会 (以下「同盟会」) によるリニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会 (H22.5.8) ○ 同盟会によるJR東海との面談及び要望書の提出 (H23.6.9) ○ リニア中央新幹線建設促進長野県協議会による国土交通省への要望書提出 (H23.7.13) ○ 同盟会による環境影響評価方法書への意見提出 (H23.11.10) ○ 地域内各団体による環境影響評価準備書に対する意見提出 (パブリックコメント) (H25.11.5) ○ 南信州広域連合、関係自治体による環境影響評価準備書に対する県知事への意見提出 (H26.1.9) ○ 環境影響評価準備書の長野県知事意見書をJR東海に提出 (H26.3.20) ○ 環境影響評価準備書の長野県知事意見書に関する意見提出 (H26.5.9) ○ 南信州広域連合、木曾広域連合、上伊那広域連合による環境影響評価書に関する要望書を長野県知事に提出 (H26.5.12) ○ 長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を環境大臣に提出 (H26.5.13) ○ 長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を国土交通大臣に提出 (H26.6.16) 		
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> < 期成同盟会、商工会議所・商工会、自治体 > 		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	4		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-④		
推進方針	豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進		
主要施策	浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 路線整備の推進 期成同盟会等による国への働きかけ	● 道路整備方針・スマートインター設置・浜名湖ゾーン活用方法（交流・居住など）の検討・研究	平成26年度 20144~20153
実施内容	<p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 (H21.6.23) (H22.11.16) (H23.6.28) (H24.8.31)</p> <p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動 (中部地整H23.12.13、H24.7.17、H25.7.11、H26.8.11) (本省H20.7.28、H25.7.31、H25.11.14、H26.7.7)</p> <p>○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会の要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25) (H23.10.28) (H24.7.31)</p> <p>○名豊道路建設推進協議会による要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17、H23.10.28、H24.7.31、H25.7.11、H26.7.24、H26.8.6、H26.8.11)</p> <p>○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17、H24.7.17・31、H25.7.11、H25.7.31、H26.7.24、H26.8.6、H26.8.11)</p> <p>○新東名高速道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 御殿場JCT-引佐JCT間 (H24.4.14開通) 平成27年度 浜松いなさJCT-豊田東JCT間 開通予定</p> <p>○引佐連絡道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 浜松いなさJCT-三ヶ日JCT間 (H24.4.14開通)</p>		
推進主体	＜ 自治体、商工会議所・商工会 ＞		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	5		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-⑤		
推進方針	県境を越えるマスコミの連携		
主要施策	三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	●		平成26年度 20144~20153
	●		
実施内容	<p>情報提供の継続</p> <p>三遠南信地域のマスコミによる意見交換、情報交換形態の検討</p> <p>○「エフエムHaro」・「エフエム豊橋」・「エフエムIEM」3局合同番組の放送（H14~H17） ○テレビ局関係者とのメディア連携に関する意見交換（H22.4.27） ○中日新聞「三遠南信紀行」への情報提供（平成20年度5回、平成21年度6回、平成22年度4回、平成23年度5回） ○中日新聞による「東三河・南信」レターの新聞掲載（毎週日曜日） ○南信州新聞による「三遠南信見聞録」の新聞掲載（毎月） ○信濃毎日新聞社による「三遠南信をテーマとした連載」（随時） ○浜松市・豊橋市・飯田市広報紙による情報掲載（毎月）・合同企画（2年に1回:H22.3、H24.3、H26.2）</p>		
推進主体	<p>△ 自治体、商工会議所・商工会、新聞社、テレビ・ラジオ放送局 > マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会などと意見交換を行い、連携活動を検討します。</p>		